広島県印刷工業組合会報（毎月1日発行）

えんぺい広島

VOL.444
令和5年8月

発　行／広島県印刷工業組合　　発行人／中本　俊之
広島市西区南観音一丁目1番22号　TEL（082）293-0906　FAX（082）293-0954
URL：http://www.hiroshima-pia.jp　E-mail：h.inkumi@estate.ocn.ne.jp

令和5年度上期中国地区印刷協議会開催
中国地区協議会　中本俊之会長挨拶
全印工連　滝澤光正会長挨拶
各委員会報告
「全印工連印カレeラーニング」について
青年部　活動だより
福山支部だより
事務局だより

「広島城（鯉城）」（全国大会会場近く約徒歩5分で）

今回は、全国大会会場（リーガロイヤルホテル広島）周辺の観光地をご紹介します。

写真の広島城は、天正17年（1589）、中国地方の大半を領有していた毛利輝元によって水陸交通の便のよいこの地に築城されたもので、あの黒田官兵衛がサポートしたそうです。会場からも見えますが、近くなので行ってみる価値はあります。また、その近くの中央公園にはサッカースタジアムが建設中です。他には、原爆ドームや折り鶴タワー、そして、元の市民球場跡地の公園（ひろしまゲートパーク）があります。

ところで鯉城と言えばカープ、カープと言えば「広島東洋カープ」、現在セリーグ２位。このままいけば丁度全国大会の開催日頃はＣＳのクライマックス時期かなと思います。今年こそ期待したいものです。

令和５年度上期
中国地区印刷協議会開催
～　松江市で５年ぶりにリアル開催　～

令和５年度上期中国地区印刷協議会が６月23日(金)午後１時30分より、松江市の「松江エクセルホテル東急」で５年振りにリアルで開催され、全印工連から、滝澤光正会長及び雨宮昌平事務局次長が、また、中国５県の各工組から理事長、役員など総勢36名が出席された。

始めに、地元島根県の渡邊理事長が、「松江の方も出雲大社を中心にして５月の連休ぐらいからかなりの人出が戻ってきておりますし、外国の方とか、県外のナンバーの車とかもたくさん見られるようになってきました。いろんなイベントも、コロナ以前のような形で戻ってきているような形ではありますけれど、ご存知のとおり私どもにおいては、原材料費高騰、またエネルギー価格の高騰ということで、変動費には大きなインパクトを与えている状況が続いているというところで、なかなか厳しい状況は皆さんも同じだろうなと感じております。そういう中ですが、中国５県の皆様の顔が揃いまして、全印工連からは滝澤会長、そして雨宮次長さんも来ていただきまして、リアルに皆さんと顔を付き合わせて、いろんな情報交換、また活発な意見交換等々して、少しでも皆様の事業にお役に立てればいいかなと思っておりますので、本日は長丁場にはなりますけれど、よろしくお願いいたします。実は、午前中いろいろ挨拶とかも考えて、今、皆さん流行りのチャットGTPにいろいろ書かせましてですね、10月にあります、広島文化典の内容も盛り込んでとか、いろいろなことを注文出しながら3,000字ぐらいで文章を作れと言って、いろいろ会話をして、ものの30分くらいで立派な文章ができました。世の中はこういうような時代になるのかなと思いながら、それを読もうかなと思いましたけど、『まあ、いいか』と思いました。ぜひ皆さんそういうことで遊びながら、これがまた各皆様の事業所のいろんなものの自動化とかに使って有意義に使えるようなツールとして、こういうAIを使っていけばいいのかなと思ったりしております。10月13、14日には広島県におきまして、全印工連、そして中国地区協議会、そして広島県工組が主催ということで印刷文化典が行われます。ぜひとも皆様の絶大なご協力をいただきまして、参加するのみならず、いろんな活発な意見交換、また各事業所の戦略等々、話し合える場として活用していただければと思いますので、ぜひともご協力をしたいと思います」と歓迎の挨拶をされ始まった。

会議次第

・本会議の前に　理事長会を開催
　開会の挨拶　島根県工組理事長　渡邊　学
　中国地区印刷協議会会長挨拶　中本　俊之
　全印工連会長挨拶　滝澤　光正
　全印工連事業説明　事務局次長　雨宮　昌平
　ビジネスに生かすMUDの説明　滝澤　光正
　全印工連印カレｅラーニングについて
　　中国地区教育研修委員長　廣野　景治

議　事

・令和４年度収支報告、令和５年度の予算(案)の件
　報告のとおり承認
・令和５年度下期中国地区印刷協議会開催の件
　令和６年２月16日(金)広島市で開催を決定
・分科会討議
・分科会報告

以上を午後５時30分に終了した。

松本印刷株式会社

代表取締役　松　本　仁　志

〒739-0433　廿日市市下の浜5−12
TEL(0829)55−2290　FAX(0829)55−1640

■スライダーポーチ　■手帳カバー
■ワッペン　■ステッカー
■腕章　■カード
■車検証入れ　■タペストリー　等

プラスチックの素材から印刷製品まで･･･
・高周波加工　・シルク印刷　・箔押し　・各種印刷製袋加工

モンデン化成 株式会社
〒720-2104 広島県福山市神辺町道上2891-1
TEL:(084)960-0345　FAX:(084)960-0480
http://www.mondenkasei.com/　kasei@sky-net.or.jp

【中本俊之中地協会長挨拶要旨】

「2023 全日本印刷文化典広島大会」に、ぜひ、おいでください！」

2020 年、島根県で地区協を開催する予定でしたが、急遽ウェブで理事長会議になったのが３年前の話です。ギリギリまでリアルでできないかっていうことを、一生懸命模索をしたのが懐かしく思います。

コロナの方も、先月、２類から５類に移ってマスクも取れたというところで、だいぶ気分が変わってきたのかなと思います。やはりリアルでの会議っていうのはどれだけ大切なことか、そして意義のあることかと本当に感じる次第であります。昨年の６月に鳥取県で３年ぶりにリアル開催できたということ、本当に地区協がこうしてできるというのはいいものだなと思っております。

やはり、リアルで開催もでき、そして皆さんの顔を見ながら、そしていろいろ意見を交わすそういったことがこの地区協の一番のいいところではないかなと思っております。広島も先月 G7 広島サミットが開催をされまして、慌ただしく嵐が吹き抜けていきましたけれども、本当に広島もすごくいい経験をさせていただいたのかなと思います。

先日、ハワイから来られた方を宮島にお連れしましたが、日本語が聞こえないです。すごいです。ものすごく外国の方が多く来られまして、ここに今からこういった産業、観光も含めて、いろいろな人の出入りがますます増えて来るのだろうなと思います。

やはり販促とそして集客というのは、我々印刷業の一番ミッションでありますし、そういった明るい兆し、久しぶりの本当に明るい兆しで話が出来るのかなと思っております。ぜひ３年、約４年、いろんな意味で本当に苦しんだ時期を経験したわけですから、しっかりと前を向いて行ければなと思っております。

そして、今日は皆様に全国大会の最後のお願い、くどいぐらい皆さんに話をしてきましたけれども、もう一回だけ話をさせてください。今日お手元に「印刷産業夢メッセ」、そして「ゴルフのご案内」。これまだ 47 都道府県には発送しておりません。今日皆様に初めてできたばっかりのパンフレットを持ってまいりました。10 月に、広島で 50 年ぶりに全国大会の開催ということで、今回の全国大会、「1 日早くお越しいただいて、1 日遅く出ていただく」というのがコンセプトで進めております。先ほど言いましたようにコロナで本当に我々の仲間が厳しい環境に置かれました。とてもではないですけれども、全国大会だからということで、物見遊山で広島に行こうということは絶対にありえないと思います。「勉強がしたい」とか、「知見を広げたい」「仲間になりたい」「お好み焼きを食べたい」「ゴルフがしたい」「夢メッセを見たい」。「だから広島行きたい」というようなそういった形で、皆様に全国大会に来ていただく意義を、しっかりと我々広島工組が用意させていただいて、いま準備をしている最中でございます。

ぜひ皆様に「広島に行って良かったな」と言っていただけるような大会にしたいなと思っております。正直なところ、アフターコロナという中、初めての全国大会。何人の方にお越しいただけるのかなという非常に不安なところはございます。やはりこの地元の中国地区の皆様に、ぜひともこぞって広島にお越しをいただいて、応援をしていただきたいなと思いますし、そして今日こちらに並んでおられますのは、大会副委員長でございます。ぜひ４名の副委員長に非常に期待をしております。合わせまして皆様と一緒に広島大会を盛り上げていただきますよう、ご協力をお願いいたしまして挨拶とさせていただきます。最後に今回この中国地区協を設営していただきました、島根県工組の皆さんには本当にお世話になります。今日一日が皆様にとって有意義な開催になりますことを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

Horizon
Change the focus
「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか
ホリゾン・ジャパン株式会社
www.horizon.co.jp

UCHIDA TECHNO
紙枚数計数機
カウントロン
AT-twin NEW
めくりクセがつかない計数機に
ダブルヘッド型が新登場
用紙端2ヶ所の同時計数により
精度向上と時間短縮を実現
ISO14001 ISO 9001 認証取得企業
株式会社 ウチダテクノ
(株)内田洋行グループ企業
〒116-0011 東京都荒川区西尾久4-25-3 ☎03(5901)2171
〒540-8520 大阪市中央区和泉町2-2-2 ☎06(6920)2460
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-4-20 ☎052(220)5270
〒060-0041 札幌市中央区大通り東3-1 ☎011(241)2825
〒816-0053 福岡市博多区東平尾1-18-54 ☎092(624)9988
www.utecs.co.jp
070606

【滝澤光正会長挨拶要旨】

「この難局を同じ仲間と団結して解決を！」

私も会長を拝命して丸３年が経ちました。コロナもあって大変厳しいこの３年間でございました。

このコロナ禍におきましても、全印工連では皆様のご協力をいただきまして、全印工連コロナ対応指針を数回にわたって発出をし、皆さんにご協力をいただきました。また、地区協運営強化助成金を交付させていただいたり、あるいは主に東京発信の各種セミナーをこのコロナで普及したリモートを通じて、全国の組合員さんに無償で提供したり、また、構造改善をなし遂げるために全印工連が開発したDXプラットの構築、そして本格運用、さらには教育動画チャンネルの印カレの設営、開設、そして新たな介護共済の制度開始でありますとか、昨年９月には、全印工連としては初めてでしたが、名古屋市においてCSRサミットの開催、そしてその翌日には全印工連フォーラムを、コロナ禍ではありましたけれども、無事に開催することができました。そして暮れには、皆さんにご利用いただいております、全印工連特別ライセンスプログラムの契約更改を無事済ませ、新たなプランを皆さんに引き続きご利用いただくということもできました。

こうした数多くの事業が、コロナ禍ながらもできたということは、改めて皆さんのご協力ご理解があってのことだと思っています。さて５月に入りこのコロナも５類に移行し、一つの大きな区切りを迎えたわけですが、コロナの影響は大変大きく、私たち印刷産業に対する社会の期待、それから需要も一変したのではないかと思っています。

またもう一つ、SDGsなどの社会的な課題への対応は、今後企業として当たり前のことになりましたし、私たち印刷産業のあり方、それから将来というのは改めて問われているタイミングに来ているではなかろうかと思います。一方で、国際情勢を背景といたしまして、印刷関連諸資材の度重なる値上げ、それからガソリン代、何と言っても電気代の高騰ということで、私たち中小印刷会社がおかれている経営環境というのは、大変厳しい状況が続いています。

もうこの資材価格の高騰が始まってから、私は組合員の皆さんにいつも申し上げていますが、それぞれのお客様、お取引先様に対しては、しっかりと丁寧なご説明をし、ご理解をいただいた上で価格転嫁をお願いしていくということが、我々の事業存続にとっては欠かせません。ぜひこの価格転嫁は、しっかりと行っていただきたいと改めてお願い申し上げます。

こういう状況の中で、今こそこの組合の存在価値というものが重要なのではないかと思います。１社では解決できないこの難局を、同じ立場の中小印刷会社の我々が団結することによって、問題解決にあたっていく、この組合という組織力を、改めて皆さんで活用してまいりたいと思います。全印工連では本年令和５年度、先ほど申し上げましたDXプラットのさらなる拡大を通じて、印刷産業の構造改善を本格機動の波に乗せていきたいと思っておりますし、社員の皆さん、それぞれ従業員の皆さんのデジタル技術を獲得するためのリスキリングの新事業を、この後ご説明をさせていただきます。本年度新たにスタートさせていただきます、こういった事業を通じまして、様々な地域社会でも貢献を通じて印刷産業の立ち位置を確立する年にしてまいりたいと目指しているところです。

また、後ほど説明をいたしますが、今年８月には、印刷産業の新たな価値創造の一環としての「MUDフェア」を東京の浜松町で３日間において、これは特に社会一般の皆さんに、我々が長く取り組んでいたMUDの考え方、取り組みをご理解いただくための「MUDフェア」を開催することになりました。こちらもぜひご期待、ご参加をいただきたいと思います。

そしてなんといっても、この10月には全印工連として５年振りになります文化典、「2023全日本印刷文化典広島大会」を全印工連と、そして皆さん、中国地区印刷協議会、そして広島県印刷工業組合この３者の共催で、文化典としては５年ぶりに開催ということになります。この厳しかったコロナ禍を経て、このコロナ禍でも、全国の組合員の中では果敢に新事業にチャレンジしていらっしゃる組合の方も多くいらっしゃいます。ぜひリアルな交流を通じて情報交換をし、この新たな時代における印刷産業の団結力・組織力というものを再確認できる、そういう文化典にぜひ作り上げていきたいと思っております。中国地区５県の皆さんには大変お世話になりますけれども、どうかよろしくお願いしたいと思います。

結びにあたりまして、本年度も各印刷工業組合が、唯一県から認可をされた商工組合であるということの意義を、改めてご認識をいただきまして、これからも地域経済の発展に欠かすこともできない組織であり続けることを全印工連としましても、各県の皆様と引き続き連携して、力強く推進してまいりたいと思っています。引き続き全印工連に対しましてのご理解・ご協力をお願い申し上げまして、一緒に印刷産業の新たな未来を切り開いてまいりたいということをお願い申し上げ、冒頭、私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

《全印工連の事業説明》

事務局次長　雨宮　昌平

1. 全印工連令和５年度事業計画について
2. グリーン購入法における特定調達品目の見直しについて
3. 総務省の調査にみる知的財産権の取り扱いの現状について
4. ビジネスに活かすMUD
5. 印カレeラーニング事業について
6. 「伝えるためのユニバーサルデザインフェア～色・文字・かたちでみんなにわかりやすく～」
   開催　東京都立産業貿易センター浜松町館
   ８月１８・１９・２０日の３日間

【各分科会の開催及び報告】

《理事長会》

中本俊之会長（広島）から、①各県工組の事業計画を説明●岡山、働き方改革、特に小規模の会社を重視したセミナー開催、JPPS の継続、官公需予定価格の問題、物流の 2024 年問題、知的財産、プリテックフォーラの開催等をやっていく。●鳥取、印刷会社向けた助成金、Adobe ライセンス、MUD 検定を進めていく。毎週月曜にズーム会議を開催。●島根、官公需対策は平成１６年から県、もしくは中央会との打ち合わせを開催している、プロポーザルの問題や最低価格制度、そして知的財産問題などに取り組んでいる。●山口、セミナーを総会と新年互礼会時に開催、オフセットの技能士検定や営業セミナーなど開催。●広島、広島大会に向け全力で取り組むとしています。●青年部からの提案、各県工組の青年部の部員数が非常に少なく今後の問題について地区協で検討してほしいと依頼があった。

《経営マーケティング委員会》

細川俊介委員長（広島）から、①経営革新支援事業。DX 実装の推進、事例研究・情報発信、そして MIS の導入・活用活性化に向けた啓発・支援展開。そして事業領域の拡大展開を支援するためのセミナーの開催協力・情報発信。そして「新・勝ち残り合宿ゼミ」の開催、②事業承継・事業継続支援事業。「事業承継支援センター」の活用の推進と啓発。また、印刷業界のための事業承継・M&A セミナーの開催。「事業承継ガイドブック」の周知、サスティナブルな事業経営への推進支援、地域創生事業の活性化支援、印刷業経営動向実態調査の実施及び分析、CSR 認定事業の普及と啓発、③マーケティング支援事業。デザイン経営の事例研究、異業種同業種のマーケティングに関する事例研究、セミナーの開催、情報発信、④「共創ネットワーク通信」の活性化と機能強化について意見交換内容を報告。

《環境労務委員会》

中川隆委員長（広島）から、①令和５年度雇用保険料率の案内、② 2024 年４月から労働条件明示のルールが変更に、③職場のパワーハラスメント対策に係る自主点検表、④カスタマーハラスメント対策に取り組む、⑤「知らなかったでは済まされない　労働法と労働基準監督法改正セミナー」の開催、⑥環境マネジメントシステム認証・認定制度の普及推進、⑦環境推進工場登録制度、⑧ ISO14001 の取得支援事業、⑨第 22 回印刷産業環境優良工場表彰への参加・協力などの意見交換内容を報告。

《組織共済委員会》

竹田圭佐委員長（山口）から、①各工組組合員数異動状況、②各共済制度の加入状況、③今年度共済キャンペーン重点工組は岡山県と島根県、④ BCP(事業継続計画) 対策の推進、⑤クラウドバックアップサービスの推進についての意見交換内容を報告。

《教育研修委員会》

廣野景治委員長（岡山）から、①技能検定プリプレス (ＤＴＰ作業) 合格者数と受験料の減額、②印刷営業講座・印刷営業技能審査認定試験の実施、③教育動画サイト「印カレ～全印工連の学んで得する TV ～」の周知・啓発、④「全印工連印カレｅラーニング」の販売、⑤全印工連特別ライセンスプログラムの周知･普及、⑥組合支援セミナーの周知･啓発、⑦ JPPS、マイウオッチャーの周知・啓発などの意見交換内容を報告。

《CSR 推進室》

宮﨑真 CSR 推進委員（広島）から、①「伝えるためのユニバーサルデザインフェア～色・文字・かたちでみんなに分かりやすく～」が、８月18～20日東京竹芝の東京都立産業貿易センター浜松町館にて開催。入場料は無料の紹介。

午後６時からは島根県工組主催の懇親会、管田専務理事の司会で開催され、渡邊理事長の挨拶と渡部康之副理事長の乾杯で始まり大いに盛り上がった。中締めは、次回開催県の広島県工組の中本理事長の一本締めで幕を閉じた。

KATSURAの高性能印刷ローラー

高機能UV印刷用インキローラー　アバントUV
UV兼用連続給水用ローラー　UVHW

株式会社 加貫ローラ製作所
https://www.katsura-roller.co.jp/
岡山営業所：〒701-1144 岡山市北区栢谷1632-1
TEL 086-294-9360 FAX 086-294-1881
本　　社：〒544-0005 大阪市生野区中川5-3-13
TEL 06-6751-1121 FAX 06-6754-4400

断裁機と
オートカッティングシステム
株式会社 勝田製作所
本　社　〒536-0014 大阪市城東区鴫野西3-3-43
TEL06-6961-3945
勝田機械販売㈱　〒135-0041 東京都江東区冬木21-4(冬木ビル4F)　☎03-5245-1555
福岡営業所　〒811-1255 福岡県那珂川市恵子1-17-402　☎092-952-7111
四国営業所　〒760-0080 高松市木太町1679番地　☎087-861-7773

【中国地区印刷協議会】

「全印工連印カレｅラーニング」について

中国地区教育研修委員長　廣野　景治 氏

皆様の会社ではDXの進捗状況はいかがでしょうか。「進んでいるよ」という企業もあれば、「ちょっと難しいなあ」、といろいろな状況と思います。さらには、印刷以外のデジタル方面で事業領域の拡大が進んでいますでしょうか。「イエス」と言われる企業もあれば、「しなければならないなと思っているけれども、なかなか踏み切れない状況にあるよ」と、各社それぞれだと思います。では、私たち印刷業界に何が足りないのか、よく指摘がされるのがIT、デジタルに関する知識不足、デジタルの人材、教育、そして投資などが挙げられます。さらに私も含め、経営者自身の意識改革が足りてないっていうところもあると思います。

こうしたIT、デジタル技術に関する基礎知識のことを「デジタルリテラシー」と言い、理解するという意味ですが、このデジタルリテラシーこそが我々印刷業界にとって、とても重要になっております。将来、事業領域を拡大し、価値の高いデジタルサービスを印刷と合わせてお客様に提供するためには、その基礎を身につけておかなければなりません。我々印刷業界は、これまで仕事を通じてお客様との信頼関係を築いてきました。そして今後も新たなデジタルサービスを加えて提案をしていく場合、自社でノウハウの蓄積が出来ていればいいのですけれども、なかなかそうはいきません。そのためにデジタル面に専門特化したIT業者やウェブ制作の会社に、アウトソーシングをして共同体制を組まなければなりません。

その時に、我々に求められるのが、お客様の要望に応え、指揮していくディレクション能力、管理能力、これが必要になってきます。この能力には、我々が理念を理解していること。つまり理論を大切にしていかなければならないということです。

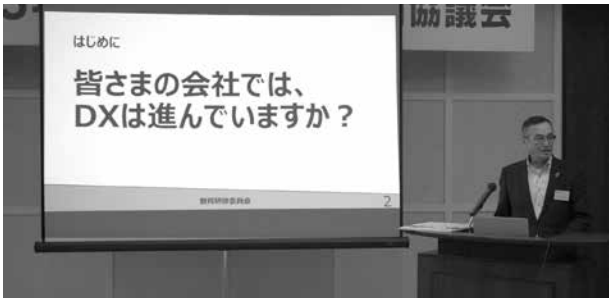
今回のｅラーニングという学びには、その理念・理論が集まっております。今月皆様にお手元に配布したチラシ、両面になっております。これはｅラーニングの説明資料です。ｅラーニングのというのはデジタルリテラシーを、いつでもどこでも学習できる全印工連の動画サービスです。オンラインの学習プラットフォームのことであります。パソコンやタブレットそれからスマートホンを使って、インターネットを活用し、そして学ぶ、学習形態です。

実はこのｅラーニングは昨年1年間、東京の工業組合が実施された教育研修プログラムでして、東京では申し込みが殺到し、1,000件をもうすぐ超えるという状況と聞いております。このｅラーニングの授業、今年度から全印工連で全国展開をする運びとなりました。コースの説明ですが、詳しいカリキュラムについては、フライヤーの、チラシの画面をご覧頂ければと思います。全19コース、23時間45分のコンテンツが、学習できるようになっております。内容は全てデジタルリテラシーです。

詳しくはチラシをご覧頂いて、上からDX基礎、情報セキュリティ。中段はAIなどのコンテンツがあります。各コースは約1時間から1時間20分で、それぞれのコースは10分から15分のセクションが5～6個詰まっています。視聴中に理解度チェックする判定テストもあります。もちろん興味のあるコース、どこからでも学習ができます。そして今話題のOpenAI社のchatGTP、これの講座も新しく8月から始まると聞いています。ぜひ期待をしていただきたいと思います。またフライヤーの表の一番下に動画のサンプルがあります。こちらにQRコードをつけていますので、スマホで読み込めば視聴できます。

次にサービスの提供期間ですが、6月1日から、このサービスはスタートをしております。申し込みをすると3～4日で登録メールアドレスにIDパスワード等が届きます。そこから学習がスタートしますが、このｅラーニングは、Adecco㈱と提供事業で行っております。そちらのAdeccoからメールが届きまして、スタートできることになります。

お申し込みは今年の8月31日までですので、ぜひこの期間中によろしくお願いいたします。今申し込めば、来年の8月31日までの1年間がサービス期間になり、約1年2か月お得になりますので、早めに申し込みいただければと思います。そして料金につきましては、1アカウント当たり、税込で24,000円であります。このようなｅラーニングは、通常に比べて半額に近い金額で提供できていると自負しています。そしてこのアカウント、1つだけで社員に共有、見てもらうこともできます。また複数それぞれの社員の方に持っていただくこともできます。それによって料金も複数でチラシに載っていますが、5アカウントで23,000円と10アカウント、20アカウントとディスカウントできるようになっております。そしてこの複数取った場合の利点として、一人ひとりが見やすい状況になるということと、管理者の方が学習の進捗状況を管理画面で見ることができて、それを人事評価等に繋げるこ



とができるということもできます。お申し込み手順は、チラシの裏にありますので、そちらでQRコードを読み取っていただければ、申し込みに繋がります。

そしてこのｅラーニングで身に付けたらどのような成果があるのかというと、これはちょうど東印工さんがｅラーニングをやったときの各社の学習効果を記載させて頂いております。まず社内の効率化、DXが進んだ、情報セキュリティ対策が進んだ、次に工程管理の見える化が進んだ、そしてデジタル技術への抵抗感がなくなった、ということです。そして次にRPA、ロボティックス・プロセス・オートメーションというような訳ですけれども、こちら入力漏れの自動チェックやアクセスレポートの自動作成ができたこと。そして社内でディスカッション、知識の共有で事業拡大につなげることができたなど、いろんな学習の効果や、それから事業の拡大に成果を確認することができたという報告をいただいています。

そしてこの事業の目指すところ、まさに新しいビジネスの創出でございます。例えば展示会のポスター・パンフレット印刷だけから、オンライン、展示会の企画、運営、オンライン申し込み設計までできるようになる。２番目には、DMや宛名印字、発送業務だけからQRコードによるウェブ誘導、マーケティング支援までできるようになった。３番目、伝票の印刷だけから、経理システムの効率化のアドバイス、システム導入支援までできるようになったというような報告があります。様々な事業展開の可能性が生まれて事業拡大に繋がっていくと思われます。

これまでの印刷業界独自のノウハウ、デジタル理論を融合した先に、新しいデジタルビジネスの創出があると考えます。同時に印カレのｅラーニングによる社内教育は、印刷会社のDXの改革の推進につながると考えております。

そして大切なのは、まずは経営者自身が学ぶこと、そこから始めなければならないということです。私どもも教育研修委員会がそのような思いで進めております。社員はｅラーニングで勉強している私たちの姿を見て、「社長がやってるなら私も頑張ろう」っていう形で、学ぶ意欲が生まれて、ｅラーニングに取り組んでいただける。ITデジタル技術に関する基礎知識を身に付けて、成長して行くと思われます。

「利益を上げるなら社員を育てろ」。ちょっと少し生意気な言い方ですが、これが私たち教育研修委員会のスローガンです。皆様からの沢山の申し込みお待ちしております。

【広島県印刷工業組合　青年部　活動だより】

全国青年印刷人協議会　中国ブロック副議長　高山　陽子　記

○令和５年６月３日（土）　九州印刷情報産業展

青年部会ＯＢ会員の有限会社新洋社印刷所　島田さんから、九州の展示会に行って且つ九州の青年部会の懇親会に参加しようとお声掛けを頂きました。

島田さん、同じくＯＢ会員のレタープレス株式会社増田さん、株式会社キングコーポレーション　野村さんと私の４人で福岡市の展示会に行ってまいりました。

今度は広島県から岡山県青年部会に声をかけて、３名参加して頂きました。

恥ずかしながら私は展示会に行くのが初めてでしたので、どんなものか少し緊張。思っていたよりも会場も大きく、多数の機器が展示がされていました。

封入封緘機、ハガキ圧着機、宛名印字印刷機、カッティングプロセッサー等々、加工に関する展示が多かったように思えます。以前からだと思いますが、印刷にどう付加価値を高めるかがトレンドになっていることをひしひしと感じました。

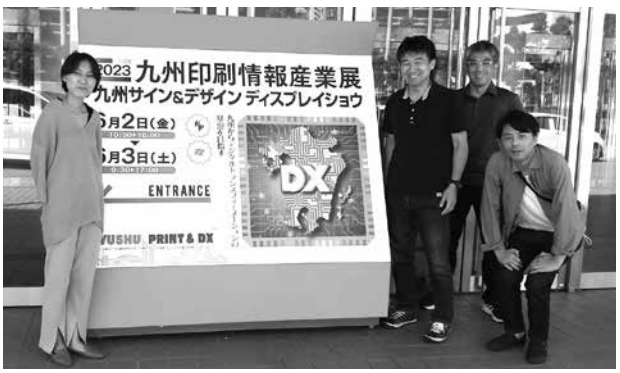
また、小ロット仕様の展示が多く、思った以上に機器がコンパクトに感じました。人口減少、多様化に対応せざるを得ない現状が反映された形でしょうか。

機材展示とは別に、地元のイラストレーターが自分達の作品を展示され、展示機材とコラボして、ポストカード、シールやキーホルダーの販売をされていました。その関係からか、若い方々が展示会に来られており会場に活気がありました。樋口実行委員長と懇親会でお会いした時に、クリエーターを呼んで来場者の層が変わった、まだまだ色々な人達を巻き込んでいくと力強く話されていたのが印象的でした。

懇親会は福岡県だけでなく九州全県の方が参加され、九州の強い団結が感じられました（沖縄県も参加予定でしたが、台風のためキャンセルに）。ここに岡山県と広島県が参入して、大所帯の懇親会となりました。

ここでも県は関係なく、印刷人として日頃悩んでいることを話したり、その地方の実情を話したりと、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

懇親会会場の居酒屋でラーメンの麺を素麺のようにして食べる『ラーソーメン』というメニューがあり、なかなかに美味でしたので今度やってみようと思っています。



福山支部 6月例会

2023年6月23日(金)、福山支部価値組委員会の6月（第233回）例会を開催しました。今回はいつもと趣向を変えて、外部講師をお招きして健康講座「スムージーで簡単薬膳 - 自分の体質を知ろう - 」を開催しました。

福山支部メンバーの草戸印刷さんの新しい取り組み、kusado.prの業務のひとつにイベントプロデュース業があります。そのコンテンツの中から選んでもらった講座を開いていただきました。これも業態変革のひとつのカタチですよね。

さて、今回の講座開催のきっかけは、日ごろ仕事をする中で疎かになりがちな自分の健康について、見直しをするきっかけを作ろうと、それが良いお仕事に繋がるんじゃない？と何気ない会話の中からでした。

「スムージーで簡単薬膳 - 自分の体質を知ろう -」、講師はkusado.prのプロデューサー林さんの繋がりのある薬膳 Planning Dish ＋の YUKA（板谷祐香）さん。国際中医学薬膳師の資格を持たれています。

薬膳といっても特別な食材を使うわけではなく、日ごろ使っている食材を自分の体質や体調に合わせて組み合わせていくんだって話されます。という訳で先ずアンケートを取り自分の体質を知ることになります。

そして今回は聴きっぱなしではなく、実際に自分の体質に合ったスムージーを目の前で作る機会をつくってもらいました。ほんと普段使いの野菜や果物を組合せただけで出来上がったのスムージーですが、参加した皆さん、（ほぼ）全員美味しいと好評でした。いつもの食材で出来、体質を知り、それに合わせ補い、養い、身体のバランスが整い、それが病気の予防になり、元気が回復し、引いてはより良い仕事をすることに繋がる。それを実感できた良い機会になりました。

いつも言うことですが、メンバーさんたち強みや特徴の中からこういう場を創り、それぞれの得意分野を共有していくことが、地域のＤＸの繋がりになっていくのではないかな、と考えています。これからも、皆んなが集まれる場を創って、共有することで、刺激やヒントをお互いに情報交換しながら、自社の仕事のヒントやモチベーションアップに。そして自社の強みに気づくことに繋がればと思っています。ありがとうございました。

事務局だより

◎ 組合のうごき

7月	10日	CSR推進委員会	web参加
	18日	広島大会、総務部会打合わせ	印刷会館
	21日	常任役員会	東　京
	25日	臨時常任理事会	印刷会館
8月	3日	夢メッセ三役会議	印刷会館
	10日	CSR推進委員会	東　京
	17日	経営革新マーケティング委員会	東　京
	18日～20日	伝えるためのユニバーサルデザインフェア	東　京
	19日	全青協正副議長会	札　幌
	21日	広島大会、総務部会打合わせ	印刷会館
	30日	常任理事会･支部長会･拡大理事会･全国大会全印工連と打合わせ	印刷会館

９月は「印刷の月」

メモ帳配布で、世間に印刷業のアピールを！

今年も例年のとおりメモ帳を作成しました。しかし、街頭での手渡し配布はコロナ禍が過ぎた今でも、配る方ももらう方も今少し抵抗があると思われますので中止といたしました。

よって、昨年同様各支部等に配布しますので、福祉関係、病院、各事務所および営業関係等に配布するなど、各支部で検討して「印刷の月」をＰＲして使用してください。

洋紙・板紙・段ボールケース
大三紙業株式会社
〒729-0141 尾道市高須町5545番地
TEL (0848) 46-2335・FAX (0848) 46-4641
E-mail:daisan@iris.ocn.ne.jp